

報道関係者各位

トラックだけでなく「倉庫」からも環境負荷低減に挑戦
約 415 坪の大型木造倉庫を新設 炭素貯蔵量は約 111t-CO₂
完成見学会を 10 月 2 日・3 日に開催

地域に根差した総合物流サービスを提供する三重執鬼株式会社(本社:三重県鈴鹿市、代表:寺田忍)は、2026 年 10 月に完成する大型木造倉庫を公開する「大型木造倉庫 完成見学会」を 2026 年 10 月 2 日(金)・3 日(土)に開催します。新倉庫の公開を通じて、物流における木造建築の可能性を発信し、環境に配慮した物流拠点づくりを目指します。



10 月に完成予定の環境配慮型大型木造倉庫

【新倉庫建設の背景・目的】

当社では、老朽化した既存倉庫の将来的な建て替えを検討する中で、約 2 年前に参加した「関西物流展」において、400 坪を超える大型木造倉庫が建築可能であることを知り、木造倉庫を建て替えの選択肢の一つとして検討するようになりました。

また、当社は木製パレットの製造を行っており、以前から木を活用した脱炭素への取り組みを進めたいと考えていたことから、今回の新倉庫を将来的な既存倉庫の建て替えに向けた実証の場として位置付けています。

新倉庫を本社敷地内に整備することで、倉庫機能を増強するとともに、外部倉庫との間で発生している横持ち輸送(※)の削減を図ります。これにより、物流効率や物流品質の向上、作業動線の改善につなげることを目的としています。

※荷物を最短距離で直接届けるのではなく、工場や倉庫、営業所といった社内の異なる拠点間や近隣施設の間で輸送・移動させること。積み下ろしや移動が増えるため、燃料費・人件費といったコストがかかり、タイムロスともなります。

【大型木造倉庫完成見学会 開催概要】

名称： 大型木造倉庫 完成見学会

開催日時： 10 月 2 日(金)・ 3 日(土) 10 時～16 時

開催場所： 三重執鬼株式会社本社営業所 三重県鈴鹿市地子町 523-2

イベント内容： 地域の皆様に倉庫内をご見学いただき、建物の構造や、どのような用途に活用できるかなどについて説明を行います。

※両日とも、開催時間中の取材・撮影可能です。

2 日 15:00～16:00、3 日 13:00～14:00 は、代表の寺田が現場で取材に対応いたします。

参加方法・お問い合わせ先：

・株式会社山口工務店：お電話または申込用 QR コードよりお申し込みください。

TEL： 0120-194-161／ 申込用 QR コード⇒



・三重執鬼株式会社：お電話にてお申し込みください。

TEL： 059-384-0003

【木造倉庫のメリット】

木材は、成長過程で吸収した炭素を、建材として使用している間、建物内に貯蔵することができます。そのため、木造建築を物流拠点に採用することで、トラックなどの輸送面だけでなく、「保管する建物」自体からも環境負荷の低減に取り組むことができます。

今回の新倉庫では、環境面だけでなく、工期やコスト面も木造を選択した理由の一つとなっています。

【新倉庫建設により期待される効果】

今回の新倉庫には約 146 m³の木材を使用しています。

設計会社が林野庁の「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づいて試算した結果、新倉庫の木材に炭素貯蔵量(CO₂ 換算)は約 111t-CO₂となります。

一方、新倉庫と同規模の建物を鉄骨造とした場合、想定される鉄骨重量は約 101.08t で、日本鉄鋼連盟の LCI (ライフサイクルインベントリ) データを基にした試算では、鉄骨材の製造工程で排出される CO₂(二酸化炭素)は約 164t-CO₂となります。

物流面では、本社事業所内の倉庫機能を強化することで、保管・流通加工・デバンニング(海上コンテナからの荷降ろし)などの業務を効率的につなげ、外部倉庫との横持ち輸送や無駄な移動の削減を図ります。これにより、物流効率や物流品質、作業動線の改善に加え、トラックの走行距離や環境負荷の低減が期待されます。

さらに、作業環境の改善を通じて社員が働きやすい環境を整えるとともに、地域のお客様の物流を安定して支える拠点として、地域に必要とされる物流会社を目指します。

◎CO₂に関する試算の出典

・木材の炭素貯蔵量：林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」

・鉄骨材製造時の CO₂排出量: 日本鉄鋼連盟「鉄鋼業界の取り組み: LCI データコレクション」

※いずれも設計会社による試算に基づく数値です。

【木造新倉庫概要】

- ・所在地: 三重県鈴鹿市地子町 523-2 三重執鬼株式会社本社事業所内
- ・構造: 木造
- ・完成: 2026 年 10 月
- ・建築面積: 1,371.79 m²(約 415 坪)
(倉庫: 1,025.57 m² / 荷捌き: 183.78 m² / 大庇: 162.44 m²)
- ・床面積: 1,354.90 m²(約 410 坪)
- ・木材使用量: 約 146.378 m³
- ・施工: 株式会社山口工務店
- ・設計: 株式会社 HC ホームズ
- ・構造材メーカー: 株式会社オーシカ

◎主な用途

・自動車部品の保管・流通加工・フォークリフト作業・海上コンテナのデバンニング・家電等の共同配送拠点

【今後の展望】

今回の新倉庫を、環境と安全を大切にした物流拠点づくりの一つのモデルとして活用し、実際の運用を通じて木造大型倉庫の実用性や効果を検証していきます。

今後は、既存倉庫との温度・湿度・WBGT(暑さ指数 ※)などの比較を行い、働く環境への効果についても検証を進める予定です。また、物流効率や作業動線、横持ち輸送の削減などについても運用状況を確認し、より効率的で環境負荷の少ない物流体制の構築につなげていきます。

当社は、環境と安全を経営の重要な軸として、トラックによる輸送だけでなく、物流を支える「倉庫」からも環境への取り組みを進めていきます。今回の新倉庫を通じた検証や取り組みを今後の物流拠点づくりに生かし、地域のお客様から必要とされ、地域に貢献できる物流会社を目指してまいります。

※WBGT(湿球黒球温度): Wet Bulb Globe Temperature: 熱中症を予防することを目的としてアメリカで提案された指標。人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標となっています。

＜本プレスリリース、取材などに関するお問い合わせ＞

三重執鬼株式会社 部署名 経営管理グループ 担当 初見

TEL: 059-384-0003 E-mail: hanako@toruki.co.jp

URL: <https://www.toruki.co.jp/>